

平成29年度

立川市立小・中学校

学校経営計画

概要版

立川市の将来像
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領
立川市教育委員会 教育目標
立川市の目指す子どもの姿

立川市の目指す子どもの姿
○「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
○生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
○まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
○まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題
○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実
重点取組事項
○小中連携推進 ○ネットアップ型の学校経営

立川第一中学校 教育目標
□ 知性 - 知性を磨いて個性を伸ばそう
□ 敬愛 - 敬愛の心を深めて良い市民になろう
□ 勤労 - 勤労を愛し責任を果たそう

立川第一中学校区 共通経営方針
学習指導、生活指導、教員交流を通して、9年間を見通した「確かな学力」の育成に向けた教育活動を展開する。
校区で目指す子ども像
・主体的に学習に取り組み、自らの発想を生かし、他と高め合う子ども
・地域や立川に愛着をもち、主体的に関わり、地域に貢献しようとする子ども

経営理念
■ 学校は生徒のためにある。
■ 生徒は地域の宝、社会の宝。

目指す学校像
□ 安心して通える、生徒の笑顔あふれる学校 (生徒の心の充実のために)
□ 未来に目を向け、自分の可能性を引き出せる学校 (生徒の未来のために)
□ 伝統を継承、発展できる学校 (伝統ある学校に)

目指す生徒像
○ 思いやりの心と規範意識をもった生徒
○ 確かな学力と豊かな知性をもった生徒
○ 「真の笑顔」を実現した生徒

目指す教師像
○ 生徒一人一人を理解し、大切にしている教師
○ 日々の授業を大切に、生徒の良さを引き出せる教師
○ 立川一中を愛し、生徒のために努力する教師

教育活動の目標と方策

(1) 笑顔あふれる友人関係の育成
A 全ての教育活動を通して人権教育の充実
○ 教科書や総合的な学習の時間、社会貢献活動を通して、生徒の自覚・自信・自己肯定感を高め、豊かな心を育成
○ I組との交流や「福祉学習」等の活動を通して、多様な個性を認め合い、互いを理解させ、自他を大切に、思いやりの心を育成
○ 人権尊重の雰囲気のある、教室環境を整備
B 道徳教育の推進
○ 「特別の教科 道徳」の実施に向け、道徳教育推進教師を中心とした指導内容や指導方法の充実を推進
○ パラリンピアンによる課題 (道徳授業地区公開講座) 等による個性の伸長を図る取組の実施
C いじめ解消・暴力根絶の取組
○ 教育活動全体を通じて、他者を思いやりの気持ちの育成と、いじめやSNSの利用に関する指導の充実
○ 「生徒士によるいじめ防止授業」(第1学年)により、人権感覚を早期に育成
○ スクールカウンセラーによる全員面談の実施(第1学年)による相談しやすい環境を整備
○ いじめアンケート等の活用により、いじめの実態の把握と早期解決 (全学年)

生徒による授業評価の分析
→ 「授業改善推進プラン」作成→授業の質を向上
○ 個に合わせた授業の充実や家庭学習への支援
・習熟度を活用した少人数指導 (数学科・英語科)
・個々の生徒の学力の向上
・宿題内容・提示を工夫、成果を評価できる場の設定
→ 学習意欲の向上
・定期的なテスト等を実施 (3教科)
→ スモールステップ型目標設定
B 確かな学力の定着
○ 学習機会...「学校支援地域本部」の活用
「ローアアップタイム」(月3回陸奥 火曜放課後 教・英)
<基礎 基本>
<基礎 基本と応用と実力アップ>
「ステップアップ教室」(定期学習会)
「サマースクール」(夏季休業中の3日間 70職員予定)
<実力アップ>
○ 学習習慣の確立 (読書・読後・英検) の取組 (各教科担当)
C 学習習慣の確立への支援
○ ガイダンスの実施
・「1-中学習ガイド」(1年生用)を活用
→ 授業や家庭学習の具体的な方法の理解 (2、3年生へもガイダンス期間で指導を実施)
○ WAT (年間2回) 実施
→ 個人の達成度を活用した、自己の課題への気づき
○ 「各教科の評価方法」の配布
→ 日々の学習と評価のつながりの理解
→ 見直しをもった学習計画を作成
○ 「通知表 学習の記録」、『評価説明資料』を配布、
『学習・生活診断カルテ』での振り返り (面談開始3日前)
→ 『学習・生活診断カルテ』を活用したアドベイス (面談時) → 学びの質を向上

(3) 笑顔で、たくましく生きていくための体力の向上を目指して
A 「東京駅体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の活用
○ 結果分析 → 保健体育科の指導内容の工夫 (随時)
○ 保健体育科の各授業にて、持久力向上の取組を設定
○ からだ作りに関する情報提供 (食・習い)
→ からだ作りに関する意識向上と取組の取組
B 体力向上推進団体の取組 (一校一取組運動)
○ 「放課後マラソン」(11月~1月) → 持久力向上
C 中学生「東京駅」大会への取組
○ 「代表選手選考」への取組の充実→候補選手の増加
(「特別支援教育の充実」) <特別支援教育>
○ 支援を必要とする生徒への支援、指導の充実
・ 「個別指導計画」や「個別支援計画」の作成
→ 教職員による共通した支援 (組織的な対応)
→ 教職員による生徒への支援、指導の充実
・ 立川市巡回相談員との連携、特別支援コーディネーターや各支援者の活用 → 生徒の居場所づくりへ
○ 不登校生徒への支援、指導の充実
(未然防止・早期発見・早期対応及び個別支援の充実)
・ 教員による気づきの共有 → 生徒の居場所づくりへ
・ 「個別支援計画」の作成、立川市等関係機関等との連携
→ 生徒理解、個に応じた支援、指導の充実
→ 不登校生徒の減少

(5) 笑顔の中で社会性を育み、自己表現を達成するために
A 特別活動・総合的な学習の時間の充実
○ 特別活動による、教育相談の視点を中心とした指導を充実
○ 生徒相互の意見交換の場を様々な活動において設定
→ 生徒相互が主体的に発言できる学習集団の育成
○ 生徒会活動を活用し、生徒の自主的な活動の充実
立川市民科の学習を通して地域学習を推進し、地域連携
B 立川一組へ、「多様・武蔵野特定受検」、「みらいく」
→ 地域を知る
○ 「救命救急講習」や「地域防災訓練」、「町民運動会ボラティア」、「小学校運動会ボランティア」、「地域清掃活動」、「ユニバース募金活動」 → 地域貢献の態度を育成
C キャリア教育 (進路指導) の充実
○ レディネステスト (1年)、
職業調べ、上級学校調べ、職業体験活動 (2年)
卒業生の話を聞く会、高校の先生から学ぶ会 (3年)
→ 自己の個性や能力の理解を深めるとともに、進路選択に活用できる知識を獲得し、望ましい進路選択を実現
(6) 小・中連携教育活動の充実を目指して
○ 立川市教育力向上推進モデル校 (小・中連携) による研究
成果を生かした活動の充実
・ 小学校教員派遣 (数学科、理科、保健体育科、英語科)
→ 相互交流、小学校教員の教科専門性の向上
・ 「三校生活指導連絡会」の充実
→ 先輩教師を擁した指導指針、SNSルールの作成
○ 「部活動体験」、「授業体験」
→ 小・中学校の円滑な連携

(2) 「分かった」「できた」という笑顔が見られる確かな学力の定着 (自らを伸ばそうという意欲) <学力向上>
A 授業規律の確立と「分かる授業」の実施
○ 授業規律を確立 → 生徒が真剣に取り組める授業
・ 全教職員が「立川一中授業説明スタンダード」を共通理解
→ 「分かる授業」を展開
・ 立川市ICT教育推進研究 (2年次) の研究
→ 効果的なICTの活用を工夫・改善

立川市ICT教育推進研究 (2年次) の研究
→ 効果的なICTの活用を工夫・改善

立川市ICT教育推進研究 (2年次) の研究
→ 効果的なICTの活用を工夫・改善

立川市ICT教育推進研究 (2年次) の研究
→ 効果的なICTの活用を工夫・改善

立川市の将来像

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようとする子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

- 学力向上
- 生涯学習
- 特別支援教育の充実

重点取組事例

- 特別支援教育
- キャリア教育
- 21世紀の学校づくり

立川市立立川第二中学校 教育目標

社会の変化に主体的に対応できる豊かな心をもち、たくましく生きる人間を目指して、

- ◎進んで学ぼう (今年度の重点目標)
- ◎思いやりの心を持つ
- ◎理想の実現に努めよう

立川第二中学校区 共通経営方針

○小・中学校それぞれのコミュニティの相互理解を深め、児童・生徒の主体的な学びと自立を促す一貫した教育内容の推進

校区で目指す子ども像
主体性をもち、自ら考え行動できる子ども

経営理念

教職員一人一人が役割を認識して主体的に行動する学校組織 すべては生徒のために
「教育は人なり」最大の教育資源は教師である 生徒の主体性を育てられる指導力をもつ教師の育成

目指す学校像

安定した学校生活のもと活気あふれる学校

- ①人権教育を基盤に、全ての生徒が尊重され、楽しさと行きがいのある学校
- ②生徒も教師もともに心が通い合い、響き合い、夢や希望を語れる学校
- ③生徒、保護者が「入ってよかった」「入れてよかった」と言える満足度の高い学校
- ④地域(町、高校町、栄町、緑町)に広く根ざし、信頼され誇れる学校
- ⑤知・徳・体のバランスのとれた学習活動を展開する学校

目指す児童(生徒)像

主体性を発揮する生徒

- ①自らの意志と判断によって、自ら責任をもって学び、行動する生徒
- ②進んで挨拶ができ、思いやりの心をもち自己を尊重できる生徒
- ③基本的な生活習慣を身に付け、心身ともにたくましく健やかな生徒
- ④自分のよさを伸ばし、自らの進路を切り拓く自立性を身に付けた生徒
- ⑤社会のために役立とうとする意欲をもち社会性を身に付けた生徒

目指す教師像

生徒、保護者、地域から信頼される教師

- ①生徒の良さを認め、肯定的な評価に努め、生徒の力を引き出すことができ、何よりも生徒を受容する教師
- ②目指す学校、目指す生徒の姿に、自らも生徒を愛する教師
- ③学習、教育、研究、実践・能力の向上に努める教師
- ④保護者、地域をはじめとする学校外の人々と連携・協力する教師
- ⑤教育公務員としての使命を果たすとともに組織の一員として学校運営に貢献する教師

教育活動の目標と方策 (特に方策については、5W1Hを踏まえて具体的に記述する。箇条書きでもよい。)

<学校独自の取組> 生徒が主体的に学習や諸活動に取り組み態度を育成する - 1 -

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
生徒自身が授業で学ぶことの「見通し」をもち、「振り返り」を行うとともに、「伝え合い、支え合い、学び合う」能力の育成を重視した授業の推進ができるようにするための校内研究を実施する。
- 成果検証の機会 ⇒ 研究発表会の実施：平成29年9月22日(金曜日)公開授業・研究発表
- ②「持続可能な社会づくりに向けた教育推進校」(平成29・30年度)東京部教育委員会・「主体的・対話的で深い学び」(学修)による思考力と課題解決に向けた力を育成する。
・「クリティカル・シンキング講座」の実施：外部講師との連携による授業の実施により批判的思考力を高める。

生徒が主体的に学習や諸活動に取り組み態度を育成する - 2 -

- ・諸行事等を創立70周年記念と冠し、生徒が主体となって活動できる場とする
運動会(5月20日・土)、合唱祭(10月21日・土)、道徳授業地区公開講座(11月11日・土)などは地域とのつながりがある行事であることから創立70周年記念と冠し、本校の重点方針である生徒が主体となつて活動できる場とする。
- とりわけ10月14日(土)に実施予定の記念式典は、可能な限り生徒にも関与させ、生徒が主体となつて創り上げることができるとする。
- それぞれ生徒アンケート、保護者アンケート等により、目標が達成されているかの検証を行う。

<学力向上に関すること>

- ①主体的な学びを促す授業の工夫
生徒自身が「見通し」をもち「振り返り」を行うとともに、「伝え合い、支え合い、学び合う」能力の育成を重視した授業の推進
- ②深い学びを促す授業の工夫
問題発見・問題解決を意識し、生徒が主体的に取り組み学習課題の設定や発問の工夫による深い学びの促進
- ③思考力・判断力・表現力等の育成
クリティカル・シンキングを基かし、根拠に基づき自分の考えをもち表現し合う活動の促進
- ④主体的に学習に取り組み態度の育成
「家庭学習ノート」「質問紙」の実施、「学修クラブ」と連携した「補習教室」等の実施
- 「学び合い」に関する生徒アンケートの実施により姿勢を明らかにする。

<体力向上に関すること>

- ◇運動会・体力アスリートに向けた取組
運動会の各項目に全員が取り組み記録の向上に努める
・1年生は初めての取組と記録となるので、今後の体力向上や体力アスリートに向けた目安とする。2、3年生は、昨年度の記録より向上させることを目標に取り組ませる。
- ◇保健体育の授業における取組
主体的な学びの取組は全ての教科で取り組んでいることであり、保健体育の授業においても同様である。主体的に運動に取り組みことができよう授業においては、「見通し」と「振り返り」を特に重視し、生徒が主体的に授業に臨み、どうすれば体力向上につなげられるかを意識した授業を推進する。
- ◇持久走の取組
1年移動教室前の持久走の取組、校内駅伝大会の実施
■「学び合い」に関する生徒アンケートの実施により姿勢を明らかにする。

<特別支援教育の充実に関すること>

- ◇生徒に関する情報の共有化
各学年のほかに、各学年の地歴、生活面での配慮を要する生徒に関する情報共有の場を設け、共通理解を図り、組織的な指導体制を構築する。
- ◇校内委員会の充実
■「校内委員会」により、各学級の配慮を要する生徒の見立てと方針を確認した上で、毎週生徒の状況を把握し、指導に活かすとともに、スクールカウンセラー、学校支援員、家庭と子供の支援員等との連携内容を確認し、生徒のよりよい成長につなげる。
- ◇特別支援学級、都立立川ろう学校との交流
本校特別支援学級1組と通常の学級の交流については、1組の生徒の状況を考慮した上で、お互いの成長につながるより良い場となるよう教員の連携・協力を重視する。長年続いてきた立川ろう学校との交流を今年度も特別支援教育コーディネーターを中心に進めていく。
- 配慮を要する生徒全員の支援体制を構築し、生徒の成長につなげる。

立川市の将来像

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

○学力向上 ○学力向上 ○学力向上 ○学力向上 ○学力向上

立川市の重点課題

○学力向上 ○学力向上 ○学力向上 ○学力向上 ○学力向上

立川第三中学校 教育目標

立志・鍛錬・協調

立川第三中学校区 共通経営方針

立川第三中学校区小・中学校においては、校区の地域、各小・中学校における児童・生徒の実態等に基づき、目指す児童・生徒像の実現のため、小中連携教育を全教育活動において推進する。

校区で目指す子ども像

自ら進んで学び、規範意識を高くもち、互いを認め合う児童・生徒

経営理念 ○生徒理解に基づいた指導の実践と生徒・保護者等への説明責任を果たすこと ○生徒指導において教職員の共通理解・共通対応を推進すること

○信頼される学校であり続けるため、教職員が不断の努力を継続すること

目指す学校像

「清々しい挨拶のあふれる学校」

今年度も引き続き、「清々しい挨拶のあふれる学校」を目指し、「清々しい挨拶をしよう」という呼びかけと実践をあらゆる場で展開していく。

目指す生徒像

- 豊かな個性をもち、自主・自立・責任を重んじ、国際的な視野をもつ生徒
- 規律と礼儀を重んじ、明眼で心身ともに健康な生徒
- 勤労を重んじ、よく努力する生徒

目指す教師像

- 【生徒のために】
- ・自己の指導力の向上を図り続ける教師
 - ・幅広い視野をもって学校教育を捉え、前進し続ける教師
 - ・豊かな人間性を身に付ける努力を惜しまない教師
 - ・生徒とともに保護者・地域、そして自分自身を大切にしている教師
- 【立川市、東京都の教育のために】
- ・教育公務員としての自覚をもち、目の前の生徒の育成をおし、本校校区、立川市、東京都の教育に資する高い理想をもつ教師

教育活動の目標と方策

小中連携教育の推進・充実

立川第三中学校区小中連携教育は、家庭・地域の理解・協力の下、校区小・中学校全教職員が推進します。

小中連携教育を一つの手段として、学力向上、体力向上、特別支援教育の充実を図り、「自ら進んで学び、規範意識を高くもち、互いを認め合う児童・生徒」の育成を目指し、具体的な教育活動を工夫します。

小中連携教育の推進・充実

立川第三中学校区は子どもたちの健全な育成に地域をあげて取り組んでいる地域です。学校教育への理解も深く、学校へ多くの協力をいただいています。地域の様々な「力」を学校教育に取り入れ、子どもたちの学びや生活、遊び等につなげていきます。

今年度は校区小学校と連携し、「学校支援地域本部」を設置し、市民力活用をより積極的に推進します。

確かな力

やさしい心

個を輝かせ

社会のために

学力の向上

体力の向上

人権教育の推進

特別支援教育の充実

Dream Project

防災教育の推進

学校への信頼の向上

具体的な学力把握と生徒個々の学習の手立ての提示

学力補充教室及び質問教室の充実

縄跳びを活用した継続的な取り組み

いじめの未然防止と早期発見・早期解決

道徳授業及び道徳授業地区公開講座の充実

通級指導学級への理解の深化

小学校 特別支援学校との連携による合理的配慮の充実

部活動の充実とオリンピック・パラリンピック教育の推進

地域との連携による防災学習の実施

ホームページの充実及び情報発信の機会増加

各学年で学力調査を導入し、生徒個々の学力の伸びに着目し、次の指導に活かします

学力補充教室では、具体的な生徒の習熟状況に基づき、効果的指導し、生徒の伸びたい思いに応じた質問教室を定期考査前に実施し、学習支援員の活用とともにも内容の充実を図ります

体育の授業において毎時間縄跳びを活用した運動を継続的にを行い、俊敏性、持久力の向上を目指します

年2回の状況調査に加え、毎朝の主幹教諭等連絡会で生徒の状況についての情報交換を密にし、いじめ等の未然防止に努めます

さらに早期発見・早期解決に努め、未解決の事案0を目指します

道徳授業地区公開講座の内容を分かりやすい資料で保護者・地域の方々に周知し、道徳の教科化についての研究を推進します

保護者会等において通級指導学級の紹介をはじめ内容を説明する機会を増やし、理解の深化を図ります

小学校は校区小中学校校長会の開催や校内研究における教員の交流等で連携を図ります

特別支援学校とは生徒への指導法について教員の交流を図り、生徒の学ぶ環境の向上を図ります

東京都体育大学の連携を通じ、高橋指導者大学院の開設やOLPやOLPの生徒教育は地域に貢献する中学生の育成を目指し、防災教育について地域との連携を図ります

ホームページの内容に家庭・地域との連携に関する情報を掲載し、更新回数を増加させるとともに、学校と同等配布物を通して情報発信の機会を増加させます

学校支援地域本部の設置・活用

学習支援 部活動支援

環境整備 美化

市民力活用

利・入学支援

立川第四中学校 教育目標

創造的な知性を磨く (知)

健やかな心と体をもつ (体)

自他を慈しみ共に生きる態度を養う (徳)

立川市の将来像

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

経営理念 生徒が「四中生でよかった」と思い、保護者が「四中に通わせてよかった」と思い、地域から「四中は落ち着いた良い学校だ」と評価される学校づくりのために、教職員が一体となって活動する

○「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども

○生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども

○まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども

○まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

目指す学校像

<生徒が誇りをもてる学校>

- 「生徒の安全・安心を提供できる学校」
- 「確かな学力と社会性が身に付く学校」
- 「保護者・地域から信頼される学校」

立川市の重点課題

- 学力向上
- 体カ向上
- 特別支援教育の充実

重点取組事項

- 小中連携教育
- ネットワーキング型の学校経営

教育活動の目標と方策

(1) 確かな学力の育成<学力向上>

- 「分かる授業」づくり → 授業力の向上
- 校内研究の充実 → 年間3回の全員参加型研究授業
- 授業内評価の充実 → 校内研修による共通意識
- 「授業改善推進プラン」の作成・活用
- ICTを活用した授業づくり
- 「道徳の時間」の授業力向上=教科化に向けて
- 年度当初に重点・領域別達成度検査を実施
- 生徒による授業評価を年間2回実施
- 少人数指導の充実 (数学・英語)
- 数学・理科の授業力向上(学力向上ステップ推進事業)
- 学習機会の拡充→全校体制、対象生徒の明確化
- 夏季休業中の学習教室 (希望制、指名制各4日間)
- 定期考査前の学習教室 (年間12日)
- 水曜日の学習教室 (年間19回)
- 家庭学習の推進

(2) 「心の教育」の充実

- 全ての教育活動を人権尊重教育の視点に立つて実施
- 「あいさつ」が求められる学校=伝統の継承
- 道徳授業、道徳授業地区公開講座の充実
- 人権感覚を高める読書講座

(3) 体力の向上<体カ向上>

- 家庭と連携し、食や睡眠等の生活習慣の確立
- 基礎体育科の授業を通じた基礎体力の向上
- 新活動の充実による体力の向上
- P.E.・カ・P.E.が教育の推進

(4) 生活指導

- 低学年時、生活規律の確立 (組織的に一貫性をもち、自然とした指導)
- 危険管理マニュアルの活用、見直し
- 「報告・連絡・相談」の徹底
- 「いじめ」や「不登校」への対応 (未然防止、早期発見・早期対応)
- 年間3回の「おれあひ月間」「いじめ解消月間」の活用
- 道徳授業地区公開講座の活用
- 家庭と子どもとの交流員、SSW、S・P・Pの活用
- 特別支援教育の充実<特別支援教育の充実> (個性を伸ばし、自己肯定感を高める)
- 教育相談科を毎週開催
- 年間2回の校内研修と、「個別指導計画」の活用
- 巡回相談員の活用→専門的な立場から助言
- 安全指導の充実
- 生徒引き渡し訓練の実施(9月)
- 救急処置講習の実施(2年生 6月)

(5) 進路指導

- 3年間を見通したキャリア教育の推進
- 職科体験学習の充実 (2学年)
- 進学指導の充実 (3学年)

(6) 特別活動

- 生徒会活動の充実 → 社会貢献や社会参加
- 回収運動等の実施、大町市との交流活動
- 部活動の充実 → 全員顧問制による全校体制

(7) 立川市長科

- 1年：情報分析力、課題を発見する力 (調べ学習とフィールドワークにより、まちな課題を発見する)
- 2年：社会参加力、地域貢献力、情報分析力、課題解決力
- 3年：情報分析力、課題解決力、発表する力 (まちな課題を整理し、提言を中学生の主張大会で発表する)

(8) オリジナルピクニック・パラリンピック教育

- 全ての教育活動を通じて計画的に推進
- 4つのテーマ、4つのアクションについて
- 全学年で年間35時間の学習

立川第四中学校区 共通経営方針 (9年間の連続性を重視)

「主体性(自主性)」をキーワードに学習意欲の向上、学習習慣の定着(知) 豊かな人間性の育成(徳) 健全な生活習慣の確立(体)の育成を図る。

校区で目指す子ども像：自ら考え進んで学習する子・人と関わり、他者と協力できる子・自ら体を鍛え、心身ともに健康で安全な生活ができる子

目指す児童(生徒)像

- 確かな学力を基礎に、主体的に学び向上する生徒
- 規範意識と思いやりの心をもった生徒

目指す教師像

- 教職に対する強い情熱をもつ教師
- 教育の専門家としての確かな力量をもつ教師
- 社会人としての人間力をもつ教師

(10) 開かれた学校づくり

- 保護者や地域に対する説明責任を果たす
 - ・保護者会の内容を充実
 - ・年間8回(土曜授業3回)の学校公開
 - ・各学期に1回の学校公開説明会
 - ・年間2回の保護者アンケート
 - ・自由意見に対する直接回答
 - ・ホームページの充実 → 週3回以上の更新
- 保護者・地域の教育力を活用(ネットワーク型の学校運営)
 - ・地域人材を活用した学習教室(学習支援員)
 - ・市立図書館と連携した読書活動推進(ポップ作成等)
 - ・高校と連携した進路学習
 - ・地域人材を活用した授業 (市民科、いじめ防止、福祉学習)
 - ・地域に目を向けた校外学習

(11) 小中連携活動

- 9年間を見通した教育活動の充実
- 小学校の教育活動の理解を深め、指導の連綿性を高める
 - ・立川市長科の取組=立川を知り、立川を愛する生徒の育成
 - ・夏季学習教室等の教員相互連携
 - ・授業体験・野活動体験(2月)の充実
 - ・生徒の関心、意欲の向上 (中1ギャップの解消)
 - ・小学校外国語活動への英語科教員派遣 (校区2校の36年生1,77名2時間)

(9) 学校運営

- 組織的な対応力を向上
- 経営会議を活用(生協教諭+生活指導主任)
- 運営委員会の充実(分掌主任・学年主任)
- 経営支援部の充実
- 副主担任制度を強化主任の補佐(人材育成)

(11) 教育公務員としての責務を果たす

- 体罰・不適切な指導(体罰等)の防止
- 会計事務の防止
- 通勤に関する事故(通車手配)
- 個人情報保護の適正な管理
- 情報セキュリティ実施手順の遵守

(10) 研究・研修

- 立川市研究指定校として、授業改善の充実と学習機会の拡充を図る。
 - ・年間3回の全員参加型研究授業と、全員が9月に研究発表を実施
- 東京都・立川市の研修への積極的な参加

(11) 教育公務員としての責務を果たす

- 体罰・不適切な指導(体罰等)の防止
- 会計事務の防止
- 通勤に関する事故(通車手配)
- 個人情報保護の適正な管理
- 情報セキュリティ実施手順の遵守

(10) 開かれた学校づくり

- 保護者や地域に対する説明責任を果たす
 - ・保護者会の内容を充実
 - ・年間8回(土曜授業3回)の学校公開
 - ・各学期に1回の学校公開説明会
 - ・年間2回の保護者アンケート
 - ・自由意見に対する直接回答
 - ・ホームページの充実 → 週3回以上の更新
- 保護者・地域の教育力を活用(ネットワーク型の学校運営)
 - ・地域人材を活用した学習教室(学習支援員)
 - ・市立図書館と連携した読書活動推進(ポップ作成等)
 - ・高校と連携した進路学習
 - ・地域人材を活用した授業 (市民科、いじめ防止、福祉学習)
 - ・地域に目を向けた校外学習

(11) 教育公務員としての責務を果たす

- 体罰・不適切な指導(体罰等)の防止
- 会計事務の防止
- 通勤に関する事故(通車手配)
- 個人情報保護の適正な管理
- 情報セキュリティ実施手順の遵守

(11) 教育公務員としての責務を果たす

- 体罰・不適切な指導(体罰等)の防止
- 会計事務の防止
- 通勤に関する事故(通車手配)
- 個人情報保護の適正な管理
- 情報セキュリティ実施手順の遵守

平成29年度 立川市立立川第五中学校 学校経営計画 (概要版)

校長 小沼 孝行

立川第五中学校 教育目標

- 自ら進んで勉強する人になろう
- あたにかいい思いやりのある子になろう
- 良いことは進んで実行する人になろう
- 心身ともに健康な人になろう

立川市の将来像

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようとする子ども
- まちを知り、まことに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川第五中学校区 共通経営方針

・ 年長1年と小・中の9年間の生涯教育活動により、途切れ隙のない流れが、指導を担う。健全育成を基礎とし、個性に合わせた教育的ニーズに正対した10年間における児童生徒理解に基いた指導を担い、心育・徳育・体育にバランスの取れた児童を育成し、地域に貢献できる人材を輩出する。

校区で目指す子ども像

- 思いがちな個性を身に付け、誰やかでたくましく生きる児童生徒
- 地域の方との活動を通して親土を学び、親土を愛し、環境を大切に守り続ける児童生徒

立川市の重点課題

- 学力向上
- 体力向上
- 特別支援教育の充実

重点取組事項

- 小中連携教育
- ネットワーク型の学校経営

目指す児童(生徒)像

生涯に渡って自己実現に向けた目的意識をもち、日々の学びと生活の中に発見した課題の解決に向け他者と協力して取り組み乗り越えていく力と態度をもてる人

目指す学校像

清々しい挨拶のあふれる学校

- 1 「学ぶ喜び」のもてる学校
- 2 「ふれあう喜び」のもてる学校
- 3 「生きる喜び」のもてる学校

教育活動の目標と方策 (特に方策については、5W1Hを踏まえて具体的に記述する。箇条書きでもよい。)

<学校独自の取組>

【全教育活動を通して人権尊重の精神の育成】

- ① いじめの未然防止・暴力の否定などについては、毅然とした指導をする。
- ② 一人一人のよさを見付け、生徒理解に努める。
- ③ 意図的、計画的に、人権について考えさせる機会を設定する。

【道徳教育の充実を目指す工夫と改善】

- ① 教科、特別活動、総合的な学習の時間と道徳の時間との連携を図り、人権尊重精神を培い、生命の尊厳と生きることの意義を深く考えられる道徳教育を推進する。
- ② 道徳全体計画、年間指導計画を充実させ、正しい判断力をもち勇気をもって行動できる道徳的実践力を育成する。

【学校支援地域本部を核とした開かれた学校作り】

- ① 公開に耐える教育計画、評価、運営等の作成。
- ② 学校評議委員の会、外部評価の充実。
- ③ 学校情報提供の積極的提供と、理解の働きかけ。
- ④ 学校公開の実施、学級懇談会を工夫し保護者との連携と協力の獲得。
- ⑤ 地域に根ざし自治会等と協力し生徒の健康や成長を目指す。
- ⑥ 立川市民科・砂川東地域の教育資源を学校教育に生かす。

目指す教師像

生徒の向上を目指し、家庭・地域の教育力と支援を糧に、学力・体力・徳性を高める工夫と改善を追求する教職員

目指す法令遵守

② 法令遵守：ルール・マナー・礼儀を始めとした法令遵守 ④ 効率・個人・組織としての効率の意識

目指す児童(生徒)像

生涯に渡って自己実現に向けた目的意識をもち、日々の学びと生活の中に発見した課題の解決に向け他者と協力して取り組み乗り越えていく力と態度をもてる人

目指す学校像

清々しい挨拶のあふれる学校

- 1 「学ぶ喜び」のもてる学校
- 2 「ふれあう喜び」のもてる学校
- 3 「生きる喜び」のもてる学校

教育活動の目標と方策 (特に方策については、5W1Hを踏まえて具体的に記述する。箇条書きでもよい。)

<学校独自の取組>

【全教育活動を通して人権尊重の精神の育成】

- ① いじめの未然防止・暴力の否定などについては、毅然とした指導をする。
- ② 一人一人のよさを見付け、生徒理解に努める。
- ③ 意図的、計画的に、人権について考えさせる機会を設定する。

【道徳教育の充実を目指す工夫と改善】

- ① 教科、特別活動、総合的な学習の時間と道徳の時間との連携を図り、人権尊重精神を培い、生命の尊厳と生きることの意義を深く考えられる道徳教育を推進する。
- ② 道徳全体計画、年間指導計画を充実させ、正しい判断力をもち勇気をもって行動できる道徳的実践力を育成する。

【学校支援地域本部を核とした開かれた学校作り】

- ① 公開に耐える教育計画、評価、運営等の作成。
- ② 学校評議委員の会、外部評価の充実。
- ③ 学校情報提供の積極的提供と、理解の働きかけ。
- ④ 学校公開の実施、学級懇談会を工夫し保護者との連携と協力の獲得。
- ⑤ 地域に根ざし自治会等と協力し生徒の健康や成長を目指す。
- ⑥ 立川市民科・砂川東地域の教育資源を学校教育に生かす。

目指す教師像

生徒の向上を目指し、家庭・地域の教育力と支援を糧に、学力・体力・徳性を高める工夫と改善を追求する教職員

目指す法令遵守

② 法令遵守：ルール・マナー・礼儀を始めとした法令遵守 ④ 効率・個人・組織としての効率の意識

<学力向上に関すること>

表親力の向上を目指す授業改善：ICT機器の活用

(1) ① 言語能力向上を目指し多様な言語活動の工夫と改善を図り日々の授業を大事にする。評価標準の明確化、ICT機器を活用した指導方法の工夫と改善 ② 各教科の到達目標を明確にし、定期試験等で目標に達しない生徒の補充学習、課題学習等を実施する。

* 習熟度確認テスト、全国学力学習状況調査結果等を分析、指導に活用する。

(2) 立川スタンプカード20を基盤に授業点検を行う。クロスカリキュラムの視点を生かした指導、読書活動定着の指導(朝読書、目指せ1000頁読問他)

(3) 英語・数学の習熟度別指導において個々の生徒の能力を引き出すとともに多様な補習の機会を設定し未習得の学習内容を放置させない。

<特別支援教育の充実に関すること>

個に応じた工夫・改善

(1) 知的障害に係る固定学級設置校として、全校体制で交流教育の推進を図り、コミュニケーション能力を伸ばす授業と行事を意図的に充実させる。

(2) ICTを活用した教育支援の工夫と改善を全職員が念頭に置き、ソフトウェア・ハードウェアの特性を理解し個に応じた指導に役立てる。

目指す児童(生徒)像

生涯に渡って自己実現に向けた目的意識をもち、日々の学びと生活の中に発見した課題の解決に向け他者と協力して取り組み乗り越えていく力と態度をもてる人

目指す学校像

清々しい挨拶のあふれる学校

- 1 「学ぶ喜び」のもてる学校
- 2 「ふれあう喜び」のもてる学校
- 3 「生きる喜び」のもてる学校

目指す教師像

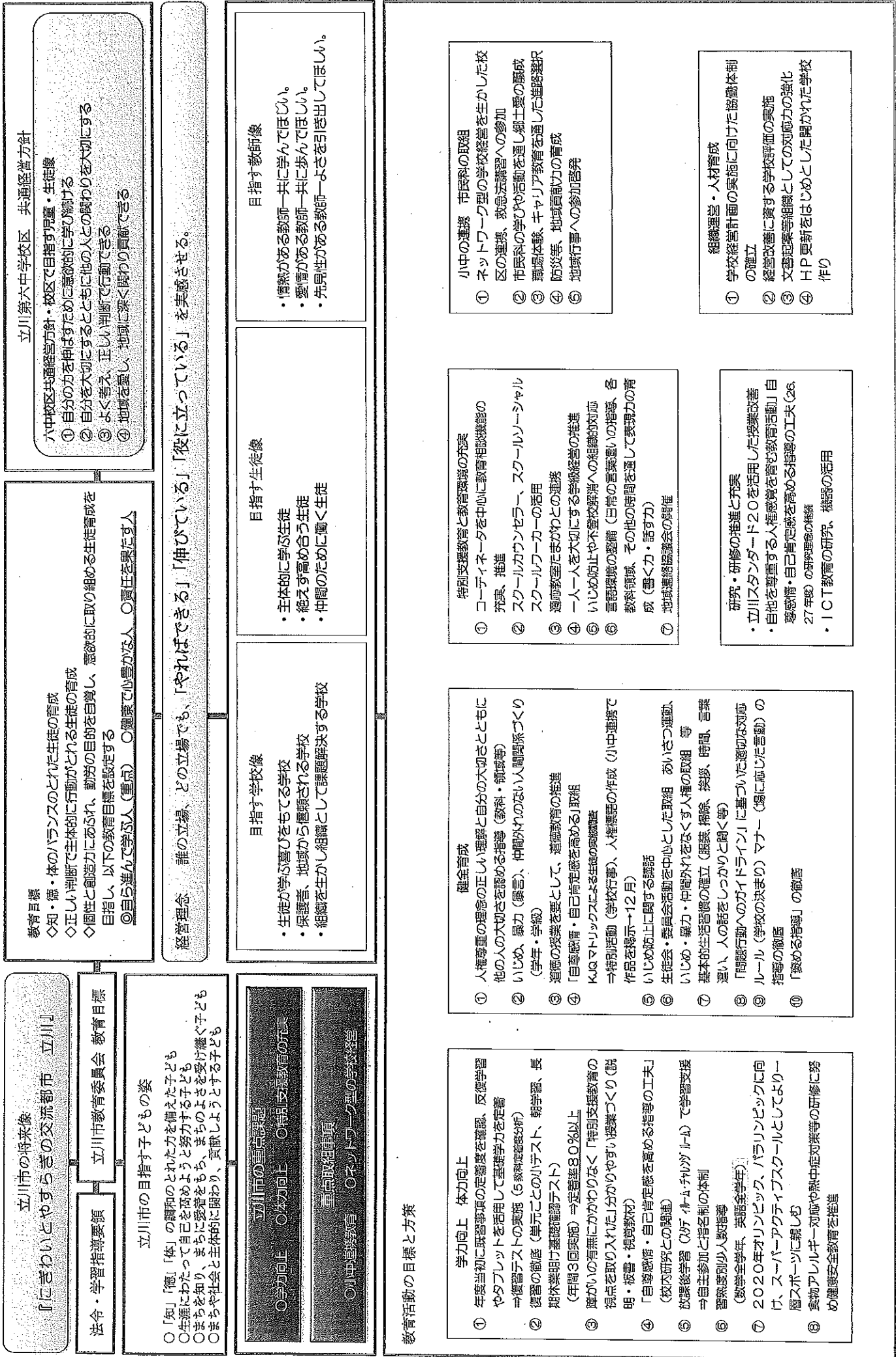
生徒の向上を目指し、家庭・地域の教育力と支援を糧に、学力・体力・徳性を高める工夫と改善を追求する教職員

目指す法令遵守

② 法令遵守：ルール・マナー・礼儀を始めとした法令遵守 ④ 効率・個人・組織としての効率の意識

平成29年度 立川市立第六中学校 学校経営計画概要

校長 飯田芳男



平成29年度 立川市立立川第七中学校 学校経営計画 (概要版)

校長 大神田佳明

立川市の将来像
『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領
立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題
○学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実

重点取組事項
○小中連携教育 ○ネットワーク型の学校経営

教育目標

明るく希望にみちたて、美しい平和な国際社会をめざし、未来を拓く人間を育成する
 ◎深く考え すすんで学ぶ
 ◎温かく思いやり 正しく行う
 ◎たくましく鍛え みずから創る

経営理念

変化が激しい社会においても生徒が自ららしく幸せに生きるための資質や能力を引き出し、最大限に伸ばすことが学校や教師に与えられた重要な使命である。

目指す学校像

- 生命尊重・人権尊重を重視し豊かな人間関係の育成
- 着実に学習到達、安心安全な生活環境の整備
- 基礎学力の定着と思考力や表現力を高め主体的な学びの育成
- 社会人としての規範やマナー、集団生活の習得
- 組織として課題解決に取り組む学校
- 説明責任と結果責任を果たし透明性の高い学校

目指す生徒像

- 生命や人権を尊重し、社会に貢献できる生徒
- 集団の一員としての規範、規範意識をもった生徒
- 自ら進んで学び、確かな学力を身に付けた生徒
- たくましく健康な心身と豊かな人権感覚をもった生徒
- 将来の夢をもち、未来を拓く創造性・主体性・自立性を身に付けた生徒
- 自分なりの考えをもち表現できる生徒

目指す教師像

- 常に人権感覚を磨き、生徒の人権を尊重する教師
- 生徒の個性や良さを認め、生徒の力を引き出し伸ばせる、何よりも生徒を愛する教師
- 使命感・熱意・誇りをもって職務遂行する教師
- 保護者や地域の願いに応える教師
- 教育公務員として服務規律を厳守し、資質と能力の向上に努める教師

立川七中学校区 共通経営方針

- 義務教育9年間を見通し、小中連携した教育活動によって「自立」した子どもを育てる。
- まちの人々やまちの文化・産業に関わり、まちを愛する心情や自ら進んでまちに貢献しようとする意欲や態度を養う。
- 西砂地域の特徴である「農業」についての体験学習を通して学び、地域の発展に寄与しようとする意欲と態度を養う。

校区で目指す子ども像

- 知徳体の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちに主体的に関わり貢献する子ども

教育活動の重点目標と方策 (平成29年度) 創立40周年「40周年の窓を開こう」～終わりのないバトンを受け継ぎどこまでも先へ～

【確かな学力の育成】
 ○基礎学力の定着
 「指導計画」「評価計画」の改善と「評価説明資料」の作成。「分かる授業」「工夫の見える授業」による授業改善 少人数・習熟個別指導の実施(数学・英語)
 ○東京ベータシリングドリルの活用
 電子化ドリルをタブレットPCで活用
 ○思考力・判断力・表現力等の育成
 基礎的・基本的な知識と技能の活用
 言語能力の育成と言語活動の充実
 ○主体的な学び、対話的な学びの育成
 ○学習習慣の定着
 ○「見通しと振り返り」のある授業
 授業の目標と授業の流れを明確に提示し身に付いた力が実感できる授業
 ○学習機会の拡充と補習
 「水曜補習授業」「夏季補習」「学習所」
 ICTの活用(タブレットPC、デジタル教科書)

【豊かな心の育成】
 ○人権感覚・人権意識の向上
 人権尊重教育に取り組み、偏見や差別、暴力をなくし自他の生命を尊重する教育の推進、人権課題「子供」「女性」「障害者」等の取組と「命の授業」の実施
 ○自己肯定感と「命の授業」の育成
 授業、領域、行事、学級指導等全ての教育活動で育む
 ○信頼関係に基づく生徒指導
 生徒自ら社会性を伸ばすために成長・発達を支援「一緒に考え、気付かせる」指導
 ○道徳教育の充実
 議論・思考を取り入れた授業改善
 道徳授業地区公開講座の開催(5月)
 「いじめを許さない学校づくり」弁護士による「いじめ防止授業」
 ○基本的な生活習慣と学習環境
 授業規律・生活規律の確立 人権教育の視点に立った授業環境づくり

【安全で安心な学校づくり】
 ○防災教育の推進
 「自助」力の育成を目指した防災訓練の実施、「東京防災」を活用した防災学習
 ○事故やけがの対応
 学校管理下の事故やけがへの対応、「報告・連絡・相談」の徹底
 ○いじめの撲滅
 「いじめ防止基本方針」に則り、いじめ対策委員会組織的対応→未然防止
 スクールカウンセラーによる面談
 ふれあい月間の取組、朝礼講話等
 ○家庭・地域・関係機関との連携
 家庭での基本的な生活習慣の確立
 西砂町青少年センター、家庭支援センター
 ○交通安全教室(ガード・ストロ) (5月)
 ○普通救命講習2学年(10月)
 ○薬物乱用防止教室の実施(5月)
 ○セーフティ教室の実施(9月)

【特別支援教育の充実】
 ○小中学校との連携と情報の共有
 「個別支援計画」「個別指導計画」作成
 ○特別支援校内委員会の設置
 2週間に1回開催SC・SSW・支援員活用
 ○特別支援研修会の実施
 臨床心理士等専門的な講師から特別支援教育について研修を深める(8月)
 ○教育支援課、通級指導学級、通級指導教室との連携 教育相談の巡回相談の活用

【心身ともにたくましくい生徒の育成】
 ○体力・運動能力の向上
 体力テストの結果を活用して体育の授業で体力、運動能力を育む。今年度は、「瞬発力」と「ボール投げ」等に重点を置く
 ○健康な体づくり
 家庭と連携した基本的な生活習慣の確立
 ○オリンピック・パラリンピック教育の推進
 4テーマ「精神」「スポーツ」「文化」「環境」基礎的な知識・技能の習得(アクション)

【小中連携教育活動】

- 小中合同研究(教科・領域)
- 小学校外国語活動への英語科教員派遣
- 立川市民科の連携(キャリア教育)
- 中学校の出席授業、朝礼活動体験
- 「七中校区スタンダード」(学習、生活)
- 「七中校区SNSルール」の活用
- 「世界ともだちプロジェクト」の連携

【進路指導・特別活動】

- キャリア教育の充実
 ガイダンス機能を充実させた生き方指導
 自己表現を図る進路指導
 ○職場体験の充実
 5日間実施を見据えた体験学習の充実
 ○生徒会活動の活性化
 地域ボランティア活動、ユニセフ募金

【ネットワーク型の学校経営】～まちづくりは人づくり、人づくりはまちづくり。未来づくりは学校から～
 ○学校支援地域本部の設置(平成29年度より) 学校支援ニューディネーターを活用した「学校・家庭・地域」連携学習支援、授業支援、環境整備・美化、学校行事等への地域ボランティアの活用
 ○地域の教育資源を活用(開拓と充実) 職場体験、農業体験、地域との交流
 ○学校関係者評価(学校評議員)、保護者評価を実施 保護者や地域のニーズを学校経営に活かす

【生徒のための学校】を旨く便命感をもった教職員
 ○授業力の向上を目指し研修に取り組む(今年度は全員参加型の校内研修・研究授業、研究協議会)
 ○服勞事故ゼロを目指して「学校コンプライアンスの確立」コンプライアンスリーダーを中心としたボトムアップ組織の活性化と主幹教師、主任教諭によるミドルマネジメント、補佐機能の充実(経営会議、運営委員会)
 ○危機管理体制の構築と組織的課題解決力の向上(管理職・教員相互の「報告・連絡・相談」の徹底)

立川市の将来像

『にぎわいとやすらぎの交流都市 立川』

法令・学習指導要領

立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようとする子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

- 学力向上 ○体力向上 ○特別支援教育の充実

重点取組事項

- 小中連携 ○ネットワーク型の学校経営

立川市立立川第八中学校 教育目標

命を大切にすることを
「知恵」を身につけ活かせる人

立川第八中学校区 共通経営方針

郷土の歴史・文化に誇りを持ち、地域を愛し、貢献する気持ちや態度を養う。

校区で目指す子ども像

- ・地域を知り、地域より学び、地域の方々と大切にしている児童・生徒
- ・地域に貢献し、将来地域を支える自立した市民となる児童・生徒

経営理念

- ・人間尊重の精神を重視し、生命の尊さを深く理解した、安全で安心な学校づくりを推進する。
- ・心と体の健康づくりを推進して、社会の変化に主体的に対応し、自主性と創造性を持ち、社会に積極的に貢献できる生徒を育成する。

目指す学校像

- ・生徒が主体的に創造し、地域に根ざした活力ある学校
- ・生命の尊さを深く理解し、安全で安心して生活できる学校
- ・伝統と創造を重んじ、学ぶ喜びを享受できる学校
- ・保護者・地域と連携し、地域社会に関わった学校

目指す児童（生徒）像

- ・自らを認め、他に対する思いやりや心の持ち、友と学校を愛する生徒
- ・学ぶ喜びを味わい、向上心を高める生徒
- ・生命の尊さを理解し、健康や体力向上に努める生徒

目指す教師像

- ・常に向上心を持ち、自己研さんを重ね、温かな指導が出来るプロ意識の高い教師
- ・人権感覚を持ち、常に生徒を思い、保護者や地域と連携できる教師

教育活動の目標と方策

<立川/中独自の取組>

- 東京都の道徳教育推進校及び立川市教育研究協力校として、特別の教科道徳に関して全教育活動で関連を図ることで、より円滑にまた生徒にとって有効・有益な指導方法を検討し実践する。
- 道徳教育を学校の教育活動の中心に据え、生徒の健全育成・心の豊か・生活の安定・生活への希望に結び付ける。また「人を愛する」を基本に、友達を、家族を、地域を、学校を、先生を、そして自分を愛する力を育成する。
- 道徳の授業は、学級担任だけでなく学年教員や校長による授業を実施することで、生徒・保護者にとってより身近で親しみやすいものとする。
- 創立40周年を迎え、周年行事に向けて地域の様々な個人・団体と連携することで、改めて「地域の学校」ということを明確にし、地域と協働して教育活動を行う。
- 市内最小規模校というスケールメリットを生かした、「小規模校だからこそ出来る教育活動」を構築し実践する。
- 学区内で、小学校1校、中学校1校という条件を生かした「学びの連続性」を重視し、より深く連携した教育活動を検討し実践する。

<学力向上>

- 英語・数学での少人数指導をはじめとして、生徒個々の状況に応じた指導を行い基礎・基本の確実な定着を図る。
- 国・都の学力調査を分析し、より効果的な指導方法を検討し実践する。
- 学習支援員や学習ボランティアを活用し、放課後を中心として補充学習を行い、つまづきの解消を図り、学習意欲の向上を目指す。同時に近隣大学との協働を図り、教職を希望する大学生の受入等を検討する。
- タブレットPCを活用したICT教育を推進する。
- 家庭学習の習慣化・定着化を図るために、家庭との連携を重視し生徒・保護者の啓蒙を行う。また各種検定等を有効活用し学習意欲を喚起させる。

<体力向上>

- 都の体力テストの結果を活用し、生徒自身に自己診断をさせ、生活・運動習慣への意識を改善させる。
- 生徒による生徒のための体力向上への取り組みを、生徒会が中心となる企画を行う。

<特別支援教育の充実>

- 管理職・特別支援コーディネーターを中心として、S.C.支援員・S.S.W.・市教委関連連担当部署との連携を密にして、よりタイムリーで効果的な支援を行う体制を構築する。同時に校内委員会の位置付けを高め、教職員の意識の啓蒙→向上を図る。
- 通級指導学級と通常の学級の学級との連携の強化のために、外部講師を招へいして研修会を開催し、教職員の理解を高める。
- 通常の学級の生徒に対しても、通級指導学級の意義・位置付けを明確に説明し、これからの共生社会への理解を深めさせる。

<地域社会との連携、市民力（地域の力）の活用>

- 地域の各種団体との連携を密にする。
- 生徒だけでなく保護者への啓蒙を行い、地域の一人としての自覚と責任を学ばせる。
- 風祭り等、積極的に地域行事を案内し、ボランティア活動を奨励することによって地域の一人としての自覚を持たせる。

<学区小学校との連携活動>

- 管理職同士の経営方針の共通理解を促進させ、より具体的な連携方法を構築する。
- 英語科教員だけでなく、理科や保健体育など複数の教科で小学校への教員派遣を行う。同時に小学校教員の中学校での研修を実施する。
- 中1キャンプの解消のために、中学校での授業・部活をはじめとして、中学校での体験活動を行う。
- 地区別班編成を中学校側が小学校の班に合わせ、小学校1年生から中学校3年生までの地区班を編成し、実際の震災発生時の避難・誘導だけでなく、その後の円滑な避難生活ができる環境を作る。(今年度は調整を行う)

<生徒の意識向上・教職員の姿勢>

- 小規模校にしか出来ない施策(行事等)を創造し実践することで、生徒にプライドを持たせ、学校・地域への帰属意識を高めさせる。
- やらせる指導から主体的にやる指導への転換を図ることで、生徒の成長だけでなく、教職員の姿勢を導く。

立川市の将来像
『にぎわいとやさしさの交流都市 立川』

法令・学習指導要領
立川市教育委員会 教育目標

立川市の目指す子ども像
○「知」「徳」の調和のとれた力を備えた子ども
○生涯にわたって自己を高めようとする子ども
○まちを知り、まちに愛着をもち、まちのよさを受け継ぐ子ども
○まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川第九中学校 教育目標
「共生をめざして」
やさしく … 互いに人格を尊重し協力する人になろう
かしこく … 自ら求め自ら学び道を切りひらく人になろう
たくましく … 心身ともに健やかで責任感のある人になろう

立川第九中学校区 共通経営方針
児童・生徒・保護者、地域の方の信頼と期待に応え、共生を目指す
校区で目指す子ども像
・基礎・基本の力を身に付け、課題をもって取り組む児童・生徒
・思いやりの心をもち、地域や人との関わりを大切にできる児童・生徒
・地域への愛着や貢献できる意欲をもち、世界に目を向けることのできる児童・生徒
・発夢をはじめ、何事にも自信をもてる児童・生徒

経営理念
・学校、保護者、地域、地域小学校・高等学校が相互に協力し合い、支え合って、主体性をもって前へ進む学校であり、生徒、保護者、地域の方々の信頼と期待に応え国際感覚に優れ、グローバルスタンダードを目指す

立川市の重点課題
○学力向上 ○学力向上 ○特別支援教育の充実
重点取組事項
○小中連携学習 ○ネットワーク型の学校運営

目指す学校像
・生徒が伸び伸びと過ごせる居場所があり、人権感覚のある安心・安全な学校
・確かな学力向上・体方向上を目指し、生徒も教師も共に学び合い、学び続ける学校
・感動や喜びが得られる教育活動を通して、世界に誇れる国際感覚をもった学校

目指す生徒像
・自分から意思をもって挨拶や声をかけられる生徒
・自分から主体的に学習に取り組む生徒
・自分から考えて対話的に行動する生徒

目指す教師像
広げる…生徒・保護者・地域社会とのつながりを広げ、自分の器を広く、窮時に応えようとする教師
高める…生徒の個性を伸ばし、自己責任能力をもち、自分のスキルを高めることができる教師
深める…生徒の思いを真摯に受け止め、深い養育をもって誰にでも何事にも丁寧に対応する教師

教育活動の目標と方策 (○…目標 ……方策)

学力的向上	豊かな生徒の育成	豊かな学校生活の確立	特別支援教育の推進	特色ある教育活動の推進	開かれた学校づくりの推進	円滑な学校運営の推進
① 基礎学力の確かな定着 ・本時のねらいの明確化 ・ドリル・小テストの励行 ・授業規律の確立 ・補充教室の実施と充実 ・家庭学習推進リーフレットの活用とファイル作成 ② 学ぶ意欲・意思の醸成 ・分かる、できる、興味もてる授業展開 ・問題解決型の九中スタンダードの研究及び実施 ・他教科の授業の全員参観 ③ 評価を活かした授業改善 ・各学方調査を活かした授業 ・生徒の評価を活かした授業	① 人権教育の推進 ・人格を尊重した生徒の呼び名「さん、くん」付けの継続 ・副担任の道徳の授業実施 ・全生徒の人権作文 ・人権教育プログラムの積極的な活用 ② 感性豊かな生徒の育成 ・本物に触れる芸術・芸能やスポーツの体験活動 ・障がい者教育の充実 ・オリンピック・パラスピック教育を通して ・障がい者体験の実施 ・障がい者ボランティヤ体験	① 主体的・自律的な活動の推進 ・生徒を主体とした学校経営方針に沿った学年、学級経営 ・組織的ないじめ対応 ・リーダーの育成と相互関係の強化 ② 進路指導の充実 ・「総合的な学習の時間」の充実と活用 ③ 対話的な生活指導の充実 ・基本的な生活習慣の確立 ・主体的に行う挨拶の推進 ・開かれた授業と情報の共有化 ・全校体制での登下校マナー徹底 ④ 健康、安全指導の充実 ・「防災ノート・東京防災」を活用した指導 ⑤ 環境美化の推進 ・全校で取り組む「きれいな学校」	① 特別支援教育の充実 ・ユニバーサルデザインを考えた学習環境 ・校内委員会の充実 ・関連機関との連携 ・教育相談機能充実 ・講師を招いた研修会の開催 ・生徒の実態把握と個に応じた教育の推進 ・個別の教育支援計画・個別指導計画策定 ② 不登校対策の充実 ・不登校生徒の別室指導及び学習環境の整備	① 伝統と地域性の重視 ・学校主体の九中農園活動の継承・発展 ・農園活動への保護者、地域の方々の参加 ・ボランティアと農家の方との連携協力 ・全校体制での読書活動 ② 体力の向上 ・新体力アサストの結果を生かした保健体育科授業の工夫と部活動の推進 ・外部の教育力の活用(授業補助・部活動・カウンセリング)	① 学校評価の充実 ・保護者、生徒、教職員の評価を比較、検討、改善 ・学校、学年だよりを活用した道徳授業や進路指導内容の伝達 ② 小中連携教育の推進 ・立川市民科、学習、生活指導、外国語活動の研究と実践 ・学習や生活の共有化 ・あいさつ運動の充実 ・授業交流と情報交換 ・夏休みホームページの充実 ③ 学校ホームページの充実と更新	① ネットワーク型学校経営 ・副籍制度の活用 ・地域人材の活用 ② 円滑な学校運営の推進 ・校内研究の充実(オリンピック・パラスピック教育、学力向上) ・「報告・連絡・相談」「迅速・的確・誠意」のある対応の実践 ・計画的な学校予算の執行 ③ 教職員の資質と指導力の向上 ・OJTの推進…授業研究の実施と他教科への参観 ・研修会への積極的な参加 ・服務事故の未然防止研修